

— 開催までの歩み —



お手入れ行事会場の準備の様子(北海道岩見沢農業高等学校のみなさん)



第44回
全国育樹祭 北海道
2021

つなごう未来へ この木 この森 この緑

開催までの歩み

北海道における全国緑化行事と森林づくり政策

昭和25年
(1950年)

第1回全国植樹祭(山梨県)
※国民的緑化行事がスタート

昭和36年
(1961年)

60年前

第12回全国植樹祭 5月24日(苫小牧市・千歳市)
【テーマ】積雪寒冷地帯の拡大造林と屋敷林の造林



▲昭和天皇・香淳皇后両陛下によるお手植え

昭和52年
(1977年)

第1回全国育樹祭(大分県)

昭和62年
(1987年)

34年前

第11回全国育樹祭 9月13日・14日(苫小牧市・千歳市・札幌市・江別市)
【テーマ】植えた夢 つないで育てて森づくり



▲皇太子同妃両殿下(当時)によるお手入れ

平成14年
(2002年)

「北海道森林づくり条例」を制定(全国に先駆け)
北海道にふさわしい豊かな生態系をはぐくむ森林を守り、育て、将来の世代に引き継がなければならないとの考えに立って、百年先を見据えた森林づくりを進める。

<条例の基本理念>

- 地域の特性に応じた森林づくり
- 林業及び木材産業等の健全な発展
- 道民との協働による森林づくり

平成17年
(2005年)

北海道で「木育」が誕生

官民協働の「木育推進プロジェクト(H16.9～H17.3)」で、木育の理念や推進方法を取りまとめ。
※H22に「木育マスター」知事認定制度創設

<木育とは?>

子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組で、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと

平成19年
(2007年)

14年前

第58回全国植樹祭 6月24日(苫小牧市)
【テーマ】明日へ 未来へ 北の大地の森づくり

森林づくり条例の基本理念「道民との協働による森林づくり」を推進する。



▲天皇后陛下(当時)によるお手植え

平成28年
(2016年)

「北海道森林づくり条例」を改正

林業・木材産業の成長産業化に向けた取組を一層推進するとともに、森林づくりを道民全体で支える気運の醸成を図る。

<条例の柱施策>

- 森林資源の循環利用の推進
- 木育の推進

平成30年
(2018年)

「北海道植樹の日・育樹の日条例」を制定(全国の都道府県で初)

道民一人ひとりが植樹や育樹を通じて、森林や樹木に触れて親しむことにより、その豊かさや、様々な恵みに感謝する心を育み、協働による森林づくりを進め、北海道の豊かな森林を未来に引き継いでいくことを期する。

<北海道植樹の日・育樹の日>

5月第2土曜日は植樹の日

5月は植樹月間

10月第3土曜日は育樹の日

10月は育樹月間

令和元年
(2019年)

国民参加の森林づくりシンポジウム 10月12日(札幌市)

北海道植樹祭・育樹祭 10月19日(苫小牧市)



▲記念講演(鈴井貴之氏)



▲パネルディスカッション



▲記念育樹(枝打ち)

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会の開催を1年延期(令和2年→令和3年)

令和2年
(2020年)

開催1年前記念イベント 10月9日・10日(札幌市・苫小牧市)

- 記念育樹
- カウントダウンボード 除幕式
- オンライン座談会
- 苫東・和みの森でのプレ育樹



▲記念育樹(施肥)



▲カウントダウンボード



▲苫東・和みの森でのプレ育樹

令和3年
(2021年)

第44回全国育樹祭 10月9日・10日(苫小牧市・札幌市)

【テーマ】つなごう未来へ この木 この森 この緑
本道発祥の「木育」の取組を加速化し、取組の継続と広がり契機とする。



▲代表者による記念育樹



▲パネル展示御覧



▲秋篠宮皇嗣殿下のおことば



▲緑化等功労者表彰



▲ナビゲーター(森崎博之氏)



▲エンディングアトラクション

第44回全国育樹祭北海道実行委員会

平成30年(2018年)6月5日、森林・林業・緑化関係団体をはじめ、106の機関・団体の代表者で構成する「第44回全国育樹祭北海道実行委員会」を設立。

同年12月20日開催の第1回総会を皮切りに計6回の総会を開催し、行事の枠組みと会場の整備方針を示す「基本計画」や、各行事の実施内容と運営方法を示す「実施計画」等を審議しました。

●第1回総会(平成30年12月20日)

大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画の公表、基本計画(素案)の決定 等



●第2回総会(令和元年6月18日)

基本計画の決定 等



●第3回総会(令和2年4月17日:書面) 実施計画の決定 等

●第4回総会(令和3年4月21日:書面) 実施計画の変更 等

●第5回総会(令和3年7月15日:書面) 実施計画の再変更

●第6回総会(令和4年3月:書面) 実行委員会の解散等

国民参加の森林づくりシンポジウム

令和元年(2019年)10月12日、北海道大学高等教育推進機構大講堂(札幌市北区)において、「北海道の『木育』わたしたちの『木育』これからの『木育』」をメインテーマに大会の開催気運を盛り上げるキックオフイベントを開催しました。

- 主催 北海道、(公社)国土緑化推進機構、(株)朝日新聞社、(公財)森林文化協会
- 参加者 約300名

● 記念講演



北海道出身のタレント・構成作家の鈴井貴之さんが「森は生きている。そしてその森で僕は生きている。」と題し講演。

● 事例発表



北海道旭川農業高等学校、北海道芸術デザイン専門学校の学生などが、日頃の木育の取組事例を発表。

● パネルディスカッション



北海道の木育を牽引する方々とシンポジウム参加者が、「わたしを変えた『木育』社会を変える『木育』」をテーマにディスカッション。

北海道植樹祭・育樹祭

令和元年(2019年)10月19日、第44回全国育樹祭のプレイベントとして、お手入れ会場となる苫東・和みの森(苫小牧市)で「第70回北海道植樹祭・育樹祭」を開催しました。
※北海道では、森林の大切さや森林づくりの意義を広く普及啓発していくため、昭和25年から毎年「北海道植樹祭」を開催しています。

- 主催 北海道、林野庁北海道森林管理局、(公社)北海道森と緑の会
- 参加者 約700名

● 式典及び記念植樹・育樹の様子



● 催事会場「ミニテント村」



木育の体験・PRコーナーや、産地直送品販売などのブースが出展

開催1年前記念イベント

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年から3年に1年延期した大会の開催気運をあらためて盛り上げていくため、ちょうど1年前にあたる令和2年(2020年)10月9日・10日、北海道庁赤れんが庁舎前庭(札幌市中央区)、苫東・和みの森(苫小牧市)等において記念イベントを開催しました。

○ 主催 北海道、(公社)国土緑化推進機構、
(公社)北海道森と緑の会、
苫東・和みの森運営協議会

【10月9日】

●カウントダウンボード除幕式



ボードは道庁1階ロビーに展示し、大会までの日数を刻みました。

●皇室ゆかりの樹木の記念育樹(施肥)



- ・ハマナス :「敬宮愛子様」御誕生祝い (平成13年)
- ・コウヤマギ:「秋篠宮悠仁様」御誕生祝い(平成18年)



【10月10日】

●苫東・和みの森でのプレ育樹

